

16. 初物のカツオを食べる

001A : オトーサン。

お父さん。

002B : ハイ。

はい。

003A : ナント コレー、ハツガズオ モラッタヤー。

なんと これ、初カツオ もらったよ。

004B : ホー。

ほう。

005A : サシミニシタガラー、(B ウン) イタダグスぺ。

刺身にしたから、(B うん) いただきますよう。

006B : ホンデア サッスグナ。

それでは さっそくな。

007A : オトーサン マ タベテミデケンネベガ。

お父さん まあ 食べてみてくれないだろうか。

008B : ウン。{間} [1] ウーン、アブラ ノッデデナー、ナント ンメゴドー。

うん。{間} うーん、脂 のっついてな、なんと うまいこと。

009A : ハー一 ナヌ ソノカオ、ナンット ウマソナカオシテ、ホントニ

あー なに その顔、なんと うまそうな顔して、本当に

ンメンダネ。ドレ オ アダシモ イッショニ タベテミッガラ。

うまいんだね。どれ × 私も 一緒に 食べてみるから。

010B : ンダー。

そうだ。

011A : アラララー オイシーゴドネー。
あららら おいしいことね。

012B : ンメァ。
うまい。

013A : ンメ。
うまい。

014B : コンナノナー、センダイノマゴサモ カセデーモンダナー。
こんなのなあ、仙台の孫にも 食わせたいもんだなあ。

015A : ホンダネー。ナンツト アリガデゴドー。ゴッツオンナッテオギスペ。
そうだね。 なんと ありがたいこと。ごちそうになっておきましょう。

016B : ハイハイ。ホンデ アノー アシダニ カダラインヨ、ゴッツオサン。
はいはい。それで あの 明日に 言いなさいよ、ごちそうさん[を]。

017A : ンダネー、ハーイ。
そうだね、はい。

[1] {間}

話者が初カツオを食べる演技をしている。